

みずほCustomer Desk Report 2016/12/16 号(As of 2016/12/15)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】					公示仲値	117.75
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	117.22	1.0513	123.23	1.0224	1.2532	0.7409
SYD-NY High	118.66	1.0540	124.07	1.0343	1.2567	0.7430
SYD-NY Low	117.01	1.0367	122.58	1.0204	1.2378	0.7337
NY 5:00 PM	118.17	1.0415	123.05	1.0303	1.2419	0.7359
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.845/12.645	△25RR	0.810	Yen Call Over
NY DOW	19,852.24	59.71	債券市場	日本2年債	-0.1900	▲0.1bp
NASDAQ	5,456.85	20.18		日本10年債	0.0900	3.1bp
S&P	2,262.03	8.75		米国2年債	1.2738	0.6bp
日経平均	19,273.79	20.18		米国5年債	2.0884	4.1bp
TOPIX	1,542.72	4.03		米国10年債	2.5967	2.6bp
シカゴ日経先物	19,500	90.00		独10年債	0.3650	6.4bp
ロンドンFT	6,999.01	49.82		英10年債	1.4880	10.2bp
DAX	11,366.40	121.56	為替市況	豪10年債	2.8690	7.9bp
ハンセン指数	22,059.40	▲ 397.22		USD/CNH	6.9331	0.0061
上海総合	3,117.68	▲ 22.85		ドルインデックス	103.09	1.33
USDJPY 3M Vol	12.91	1.36%	商品市況	CRB指数	190.476	▲1.31
USDJPY 6M Vol	12.70	0.87%		NY金	1,129.80	▲33.90
EURJPY 3M Vol	12.07	0.95%		WTI	50.90	▲0.14
EURJPY 6M Vol	13.58	0.29%		Dubai Spot	51.03	▲1.32

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月15日	08:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	11月 39.1k/5.7%	17.5k/5.6%
	18:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	11月 0.2%/5.9%	0.0%/5.9%
	21:00	英 BOE政策金利公表	12月 0.25%	0.25%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	12月 9.0	4.0
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/1.7%	0.2%/1.7%
	22:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/2.1%	0.2%/2.2%
	22:30	米 新規失業保険申請件	- 254k	255k
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況感指数	12月 21.5	9.1

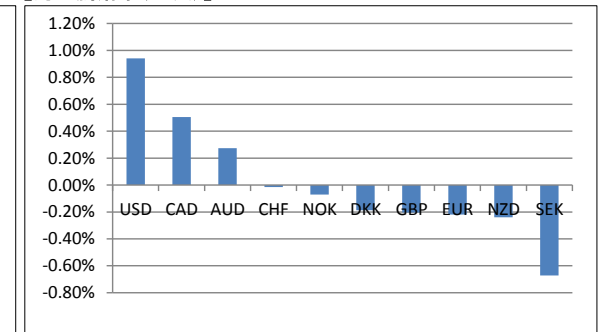
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月16日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	11月 -0.1%/0.6%	-/-0.5%
	22:30	米 住宅着工件数	11月 1,230k	1,323k
	22:30	米 建設許可数	12月 1,240k	1,260k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	117.70-118.70	1.0350-1.0480	122.00-124.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は上昇した。前日の米FOMCの内容が市場予想を上回るタカ派的な結果であったことを受け、米長期金利が急上昇。ドル買い優勢地合いが続く中、ドル円は118.66まで上伸した。その後、米長期金利が上げ幅を縮小するとドル円も連れ安となり一時117円台後半まで弱含むも、NYダウの堅調推移を受け118円台後半まで反発。その後も118円台後半で底堅く推移し、本日を迎えた。本日のドル円は揉み合う展開を予想。米10年債利回りが約2年ぶりの高水準にあり、米株も堅調推移している中、ドルが積極的に売られる局面でもないと考えられ、引き続きドル円の底堅さは継続しそうだ。ただし、イベントを消化し、米長期金利の上昇も一服した状況下、ドル買いを更に進めるにはやや材料難な印象。本日は主だった経済指標の発表も予定しておらず、週末を控えていることから様子見ムードとなり、ドル円は揉み合う展開となりそうだ。

東京	東京時間のドル円は117.22レベルでオープン。前日の米FOMCでは、FF金利の誘導目標が0.25%引き上げられ、メンバーの2017年予測利上げ回数の中央値も3回に上方修正された。米FOMCの結果が市場予想を上回るタカ派的な内容であったことからドル買い優勢の地合いが続き、日経平均株価も前日比プラス圏で寄り付いたことも相俟って、ドル円は一時117.86まで上昇。その後、日経平均株価が軟化するとドル円も連れ安となり、一時117.20まで下落。引けにかけては方向感乏しくレンジ推移となり結局117.38レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は117.38レベルでオープン。ロンドン時間序盤からドル買い優勢地合いが一層強まり、ドル円は海外勢によるドル買いを中心として118円台前半まで上昇。中盤には、ユーロドルが2015年の最安値であった1.0458割れを示現。ユーロドルの下落を受けドル買いの流れに拍車がかかり、ドル円は高値118.66まで上昇。ドル買いが一巡し、米金利も反落に転じるとドル円も118円台前半まで弱含む。118.27レベルでNYへ渡った。ボントドルは1.2567レベルでオープン。ドル高の流れを受け1.25台前半まで軟調に推移。ユーロドルが2015年の最安値を割ったタイミングでボントドルも1.25ちょうど付近まで下落。BoEは全会一致で政策金利と資産購入プログラムの据え置きを決定。BoEが足許のボント高を受けインフレ率が中銀の目標を上回る可能性が11月時点の想定よりも弱まった可能性があるとの見解を示したことからボントの売り圧力が強まり、ボントドルは続落し1.2468レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	前日の米FOMCを受けたドル全面高との流れが継続。ドル円は海外市場にて118.66まで上昇し、118.27レベルでNYオープン。朝方は12月NY製造業景気指数が予想を上回る一方、前日のPPIが予想を上回ったことから上振れ期待のあった11月CPIがほぼ予想通りとなったことから、ドル売りが優勢となり117.66まで下落。その後は、ドルの押し目買いやユーロドルが下落する展開に、ドル円は再び118.64まで戻すが、このレベルでは一旦売り意欲もあり、117.80まで反落。終盤に掛けては、118円丁度を挟んで方向感に乏しい推移が続く。118.17レベルでクロスした。一方、前日の米FOMCの結果を受けたドル買いに強力なサポートと言われていた1.05を下抜けしたユーロドルは、更にストップを巻き込む格好から一段安となり、1.0414レベルでNYオープン。朝方は上振れ期待のあった米CPIが事前予想と同水準であったことからドル売り優勢となり、ユーロドルは1.0449まで戻すが、ドラギECB総裁の「レボ市場で担保として差し出される国債不足に対する懸念が高まった」との発言が伝わり、ユーロドルは2003年1月以来の水準である1.0367まで下落。その後はショートカバーに1.0431まで戻すが上値は重く、1.0415レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・鶴田